

【計画】2-2 降水量の増加と社会経済状況の変化を考慮した都市圏の内水氾濫リスクの評価に関する影響調査

【分野：災害、対象地域：埼玉県（関東地域全域）】

地域適応コンソーシアム関東地域事業

■ 目的

- 気候変動により内水被害に影響を及ぼす短時間雨量の増加が予測されている。例えば、埼玉県の低平地においても、近年内水被害が頻発している。
- 本調査では、埼玉県をモデルとして気候変動による影響と社会経済状況を考慮した内水リスクの評価と適応策の検討を行う。

* 内水氾濫：市街地に降った雨が、短時間で排水路や下水管に流入し、雨水処理能力を超えてあふれたり、川の水位の上昇で雨水を川に流せなくなるにより、市街地の建物や土地、道路等が浸水すること。

■ 調査計画（3カ年）

時期	調査の内容
H29年度	①関連情報の収集と課題把握 ①-1 内水ハザードマップ関連整理 ①-2 内水被害と雨量の関係把握 ①-3 埼玉県内水の課題把握
H30年度	②社会経済変化の予測条件整理 ③外力変化と社会条件変化を踏まえた評価方法の検討 ④気候変動による外力変化と社会条件変化を踏まえたリスク評価 ④-1 モデルケースによるリスク評価の試算 ④-2 リスク評価指標・手法の見直し ④-3 埼玉県全体のリスク評価
H31年度	⑤適応策の検討 ⑤-1 適応策案の抽出 ⑤-2 適応策の効果検討 ⑤-3 適応策全体シナリオの検討

全国管理受託者から提供される気候変動データを適宜活用。

全国管理受託者から提供される気候変動データを適宜活用。

■ 実施体制

パシフィックコンサルタンツ株式会社

- ①関連情報の収集と課題把握
- ②社会条件変化の予測条件整理
- ③外力変化と社会条件変化を踏まえた評価方法の検討
- ④外力変化と社会条件変化を踏まえたリスク評価
- ⑤適応策の検討



**埼玉県環境科学
国際センター
助言・協力**



- ①気候変動に起因する降雨量増加による浸水深(被害)の増加
- ②下水道整備による浸水深(被害)の減少
- ③開発による被害の増加(あるいは人口減少による被害の減少)

内水被害の変化

出典：パシフィックコンサルタンツ株式会社作成